

あさかわ

議会だより

No. 131

令和5年
3月定例会

令和5年5月発行

福島県浅川町議会



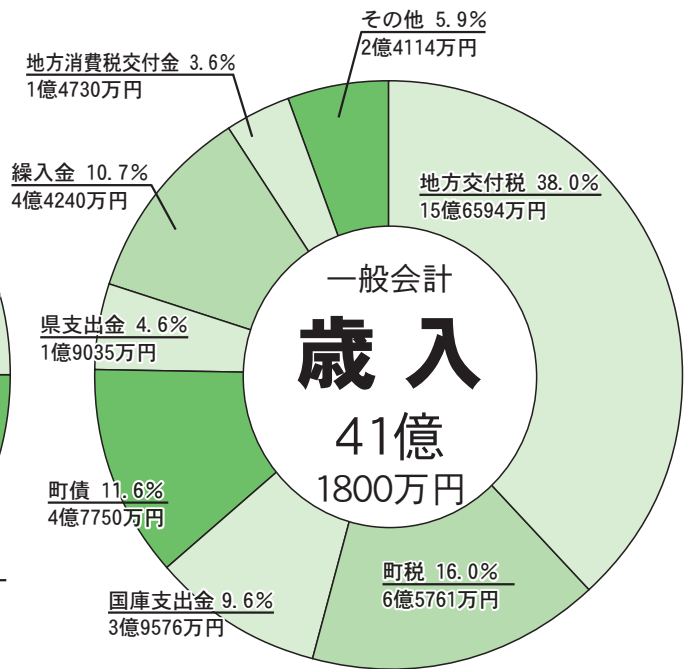
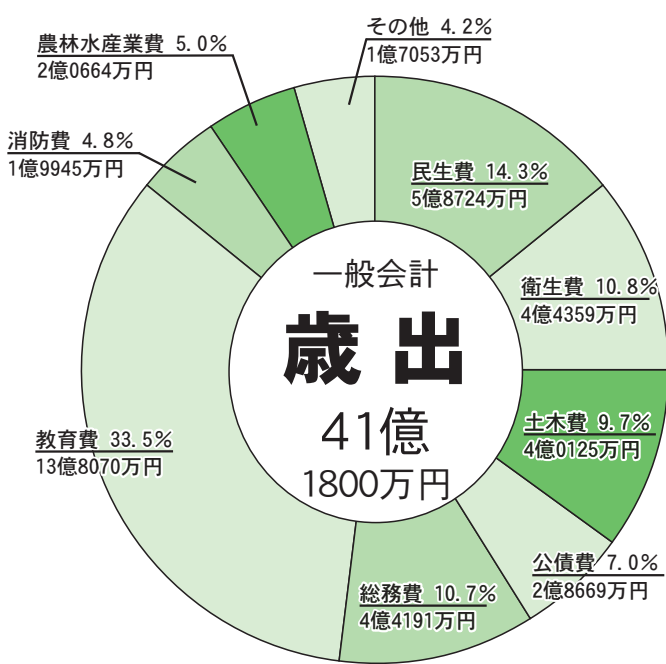
開校150年 浅川小学校入学式

令和5年度一般会計の概要…… 2
予算のここが聞きたい…… 4

議員定数削減の請願採択…… 9
一般質問 9人が問う …… 10

ふるさと写真館…… 23
町民の声 鈴木健司さん…… 24

令和5年度一般会計



%は構成比
構成比の合計は項目ごとに四捨五入の処理をしております100%になりません

改築工事着手！

3月議会定例会



3月議会定例会は、3月2日から3月9日までの8日間の会期で開かれました。

町長の施政方針では、「暮らしやすさ」「新たな活力」「人と人とのつながり」をまちづくりの3つのキーワードとして定め、これからも歩みを止めることなく、「すべては町民のために」との思いで、子育て世帯や高齢者、障がい者などすべての町民が笑顔で暮らせる、健康で長生きできる幸せなまちづくりに取り組むことが表明されました。

一般質問には9人の議員が立ちました。教育・福祉・生活環境・農業振興など29項目についての質問が行われ、活発な議論が展開されました。

令和5年度一般会計、特別会計など合わせて9会計の予算については、すべて原案のとおり可決しました。

また、条例制定や改正、令和4年度補正予算なども原案のとおり可決しました。



浅川中学校完成イメージイラスト（来年8月竣工予定）

浅川中学校校舎

**出産・子育て
応援事業**

300
万円

妊娠届出時に50,000円給付
出生届出時に50,000円給付

**浅川中学校
校舎改築工事**

8億2057
万円

校舎改築工事と敷地造成工事など

**新規就農者
支援事業**

150
万円

新規就農者に対して1人50万円補助

学校給食費無料化

3544
万円

全額補助となる

令和
5年度

一般会計予算

浅川中学校建設事業
8億2057万円

小中学校の連携はどう考慮されている

問 建設される中学校は将来の小中連携を意識した配置になっているのだろうか、具体的に

答 小中連携に配慮した部分はどこか。

問 1階は中学校の職員室を西側に配置し、将来その隣に小学校を建設した場合、小中の教員が情報交換しやすいようにしている。

答 1階は中学校の職員室を西側に配置し、将来その隣に小学校を建設した場合、小中の教員が情報交換しやすいようにしている。

2階にはラーニングコモンズという図書室があるが、これも西側の端に配置し、小学校

資材価格の状況は

問 資材価格が上昇してこの予算ではできなくなるが、一番心配

答 だが、資材価格の上昇の状況は。

問 令和4年4月から

11月までの比較のデータでは、建築費で約6・3%上がっているというデータがある。木製品などは20%を超えるほど上がっているものもある。3月から福島県の労務単価も平均で4・2%上がるといいう情報も入っている。ただ、現在価格高騰が落ち着いているという部分も若干ある。そうし

いつ空き教室が生じる見通しか

問 新しく建設された浅中に空き教室が発生するのは、出生率などから見ていつ頃になる

答 と見られているのか。その空き教室をどのように利用していくかという計画はあるのか。

問 2016年生まれの1年生が27人で1クラスとなるが、その後また30人以上になって2クラスに戻る。10年後の令和15年に入学する1年生が28人となり、

答 1クラスになって空き教室ができる。一般質問の答弁で事例を挙げたように、いろんな活用の仕方がある。活用方法について早い時点で検討したい。

工事の発注、入札の方法は

問 工事の発注は一括発注か、それとも建築電気、機械を別々に発注する分離発注にするのか。入札は一般競争入札でやるのか指名競争入札でやるのか。

答 一括発注、分離発注それぞれメリットデメリットがあり、残り少ない期間だが良く精査して決定したい。発注形態については、今年度入札参加資格申請の受付を行い、現在名簿等の整理を行っている。施工実績や資格者等の状況を踏まえて精査し、決定していきたい。



ここが聞きたい！

地域おこし協力隊2人
483万円

問 地域おこし協力隊は募集してここ4年間応募の実績がない。地域おこし協力隊員がないのは県内59市町村のうち9町村だけで、玉川村は8人もいる。

浅川町で集まらない原因をどう認識しているか。また募集対象者を3大都市圏からの移住と限らず、広く募集してはどうか。

答 大きな要因は周知不足と出遅れにあると思っている。周知については今年度、東京にあるふるさと回帰センターの会員となったので、協力をお願いしている。また業務の内容がわかりにくいということもある。募集の際には業務内容を具体化したい。集まらない市町村が全国にはた

くさんあり、国がアドバイザーを設置するということなので活用していきたい。募集対象者については国の補助金の関係もあり、基本的に3大都市圏の方で募集している。しかし今後も集まらないようなら、補助金に関わらず地域を広げることも検討しなければならぬと思うている。

ふるさと納税返礼
業務委託150万円

問 新年度はどのような事業計画で実績を伸ばす考えなのか。

答 4年度は200万円を見込んだが、5年度は1・5倍の300万円を見込んでいます。返礼品の拡充で伸ばしたい。昨年から検討してきたが、返礼品は納

税額の3割以内という決まりがあり、物価高騰の中、単価の確認や



コースの組み直しなどをしてようやく完了した。新たな返礼品は7業者から18品増え、20数種類のコースとなる。ホームページ等でPRしてふるさと納税額を増やしたい。



消火栓修繕工事5ヶ所
640万円

問 現在、使用不可となっている消火栓は何か所あるのか。4年度は工事が始まるのが大変遅く、使用不可が1年近く続いたところも

あり、地域住民から苦情があった。早くやつてもらわないと困る。

消火栓の開閉しにくいところが19カ所確認されているが、使えないという所は今のところない。4年度は1月末位に遅れてしまった。従来から町内の設備業者に依頼しているが、今後このようなことがないように改善する。

答 消防の浅川分署で毎年点検を行っている。

毎年点検を行っている。

一丁目も園 育休中の対応は

問 以前は保護者が育休をとると、預けられている子どもの方はこども園を退園させられていたが、5年度は退園しないでもよくなるのか。

答 育児休業の期間中

も子どもは預かる。育休をとる方の中には家庭で見るといふ人もいるので、確認をとりながら対応したい。5年度からの入園案内やホームページで変更の周知を図りたい。

初のフォトコンテストの内容は

問 フォトコンテストは期待する事業だが、どのようなコンセプトでやるのか。実際に実施する主体は町なのか。

答 写真のテーマは浅川町の魅力を伝える、例えば四季の風景やイベント等を年明けくらいまで長く募集して、

浅川町の新たな魅力の発見に努めたい。応募写真は浅川町のPRに利用させていただく。最優秀賞1名、優秀賞2名、入賞数名くらいで考えている。商工会や写真愛好家団体等の関係団体と協議し、体制を整えてやりたい。

反対だ！

賛成だ！

5人が討論

討論

― 反対討論 ―

岡部議員 本予算の不満とする所は、中学校の件で、中学校を建て替えることには賛成だが、なぜ3階建てなのか、6教室のほかの空き部屋スペースなどはこんなに必要なのか疑問に思う。

また、中学校建設で使う予算は21億弱だと思うが、資材高騰による値上がり予想され、設計を見直して費用を抑えることが必要であり反対する。

須藤議員 中学校建設について、以前の一般質問でも申し上げたが、保護者に対しての説明

が一切なく、意見を述べる場も設けてもらえない。やはり、当事者の生徒、保護者への丁寧な説明と意見交換があるべき。また物価高騰もあり、将来の小学校建設の重荷にならないか。そこに至るプロセスが雑であり、丁寧に行うべきと思いい反対する。

― 賛成討論 ―

富永議員 新年度予算は、浅川中学校の建設は、着手をはじめ、増加する財政需要に対応するため、必要な財源確保に努めている。また、新たに学校給食費の全

額補助や保育料の軽減などの子育て支援の充実など、重要課題への対応が図られており評価できる。ウイズコロナを見据え未来ある町づくりに向けた予算編成であることから賛成する。

額補助や保育料の軽減などの子育て支援の充実など、重要課題への対応が図られており評価できる。ウイズコロナを見据え未来ある町づくりに向けた予算編成であることから賛成する。

された。よって予算に賛成する。

木田議員 5年度予算総額41億1800万円と大きな数字となった。これは、中学校建設という一大プロジェクトが存在するからである。単独での中学校建設基本構想が存在しないこと、小中連携強化の配慮の説明がなかったこと等々問題はあるが、予算の停滞により住民への行政サービスが提供できなくなることを避けるため賛成する。

角田議員 本予算は、厳しい財政の中、財源確保に努め、新たに浅川中学校建設事業や学校給食費の無料化、あさかわこども園保育部の保育料の軽減、高齢者のタクシー料金助成の増額などに取り組み内容となっている。中学校建設事業では、資材高騰という逆風の中、町に大きな負担にならないように見直しもな

採決

賛成9人、反対2人で可決しました。

ここが聞きたい

特別会計予算

介護保険特別会計

― 介護職員の人手不足が

言われているが ―

問 介護職の人手不足

が言われているが、浅川町においては、ホームヘルプ、デイサービスは希望者の希望に十分応えられる状況か。またショートステイは希望者が希望すれば利用できる状況なのか。

答 介護職員は社協の

ほうでも大変困っている所だ。管内でも介護職員等が減っているのは聞いている。しかし、

【採決】

全会一致で可決しました。

公共下水道事業特別会計

― 終末処理場

耐水工事の内容は ―

問 終末処理場耐水化

工事費1億2100万円の内容は。

答 令和元年の台風19号で浅川浄化センター

も浸水被害を受けた。

令和3年度から調査、計画をし、令和4年度に浄化センター耐水化のための実施設計をし、

令和5年度に浄化センター耐水化の工事を行うものである。外周約388mに1・5mのL型擁壁を約50cm埋め、高さ1mの防水壁を設置する。令和5年度で完成させたい。

問 1mの擁壁の高さ

で、今後さらなる大雨にも対応できるか。

答 浸水実績を基に1

mとした。最高水位というものがあると思うが、建物の中に浸水するのを遅らせることができると思う。外周で防水壁を造って、建物自体には扉とかで、すぐに水が入ってくるのを防ぐ、時間をかけて入ってくる。そういったことも含めて1mで設計した。

問 機械室の入口のと

ころも特別に耐水化できる方法があれば検討願いたい。

答 設計段階でいろいろ検討したが、維持管

理の面の将来的な経費がかかることから防水壁を選択したが、特に重要な部分については、個別の浸水対策を今後引き続き検討したい。

上水道事業会計

― 漏水対策と水の確保は ―

問 町水道では相当な

漏水が発生していると思われる。これは老朽管が主な原因と思うが、今年の冬の凍結でますます漏水が増えていると思う。新年度の漏水対策はどうするのか。

答 今年1月末から

2月頭にかけての10年に一度と言われる厳しい寒波により、町内全域で多数の水道管の凍結と破裂が160数ヶ所あり、破裂は101件ほどあった。新年度

は漏水調査を早め早めを実施し、使用量が多くなってきたら漏水調査をし、速やかに復旧したい。水道水の供給状況は、井戸掘り後年数経過とともに低下していく状況であり、計画的に井戸のメンテナンス、それから新しい井戸を掘る計画はしている。JT跡地に新規水源として井戸を掘っている状況だ。令和5年度なるべく早い段階で新規水源として確保し、安定的な供給を図ってきたい。

教育長

教育委員

教育委員会の教育長

真田秀男氏は、令和5年4月1日をもって任期満了となるので、次者を教育委員会の教育長に任命することについて同意を求めるもの。

教育委員会の委員近藤源悦氏は、令和5年3月31日をもって任期満了となるので、次者を教育委員会の委員に任命することについて同意を求めるもの。

住 所 浅川町大字浅川字背戸谷地

氏 名

真田 秀男

生年月日

昭和33年4月生まれ

住 所 浅川町大字太田輪字二渡

氏 名

近藤 源悦

生年月日

昭和37年1月生まれ

条例改正

小室奨学資金 一部を中学校建設へ

小室源四郎・ヨシコ夫妻奨学資金の原資1億4500万円のうち1億円を浅川中学校の建設資金に活用できるようにする条例改正。

【答】 奨学資金の貸付けが10年以上なく、ご遺族や関係者に基金の現況と学校建設の町の財政状況を説明しご同意をいただいた。

【質疑】

問 今回、中学校建設に基金から1億円を使わせてもらえる経過は。

【採決】 全会一致で可決しました。

農地利用最適化 推進委員の定数削減

農地面積100畝当たり1名の推進委員の定数要件により、現在の町農地面積が約920畝に減少したことに伴い11名から10名とするもの。

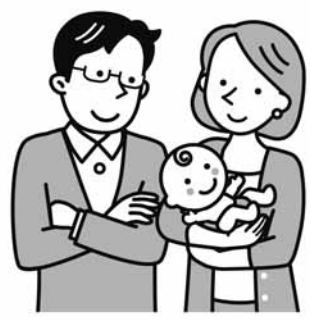
【採決】 全会一致で可決しました。

国保の出産一時金引き上げ

国保の加入者が出産した際世帯主に支給される出産一時金を、48万8千円とするもの。

【採決】 全会一致で可決しました。

現在の40万8千円から8万円増えます。



町消防団第5分団 一班体制へ編成

第5分団(山白石)の3つの班を1つの班に統合し、班長及び副班長の数を3人から1人にするもの。

【答】 団員確保の課題は共有している。団員の処遇改善や消防団応援事業の実施、消防OBの協力等により今後も現定数で行っていく。

【質疑】 問 班の編成をやるなら現在の実数の団員数で改正する必要性はなかったのか。

【採決】 全会一致で可決しました。



「議員定数を10人に」 の請願を採択



請願者

浅川町里白石字寺ノ前
小宅次男
紹介議員 岡部宗寿
富永 勉

〔内容〕

現在の議員定数12議席を令和5年の議員改選時まで10議席にすることを求める請願。

―賛成討論―

会田議員 現在、浅川町を取り巻く環境は、少子高齢化による自然減、転出が転入を上回る社会減により、人口の減少が続く状況であり、基本計画策定時の町民アンケートでも、行財政改革の重点項目として、議員定数の削減が最も多い46・7%を占めた。今後の町議会で十分検討、協議、審議を望み、議員定数の削減に賛成する。

〔採決〕

賛成8人、反対3人で採択されました。

福島県最低賃金の引き上げ

請願者

日本労働組合総連合会福島県連合会石川地区連合議長
横田良太

紹介議員

金成英起

〔内容〕

福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書。

〔採決〕

全会一致で採択しました。

〔質疑〕

問 定数削減に対するメリット、デメリットについて。議員定数の削減ではなく議員報酬の削減は。

答 メリットは少数精鋭という言葉もある。議員自ら危機感を持って真剣に取り組む姿勢が町民から評価されると思う。デメリットは町民の声や意向が、届きにくくなるという心配は一部ある。

〔討論〕

―反対討論―
上野議員 定数削減の実質的なメリットは、経費の節減しかない。デメリットは簡単に言えば、住民の声が届きにくくなり町政の監視機能の低下、あるいは当選ラインが上がり新人が立候補しにくくなるなどたくさんある。

問 定数削減については議会改革検討会の中でも結論として出していない。今の時点では管内でも減らすというようなことはないか。

答 議員報酬の引き下げこそ検討すべきで削減は時期尚早だと考える。

木田議員 今回の請願は、内容的に真摯に、丁寧に議論すべき案件で定数削減のメリット、デメリット等々を全議員の共通認識として共有することが大切である。本来であれば、特別委員会へ付託すべきだった。しかし、特別委員会に付託されなかったので賛成する。

■ 3月定例会採決一覧

全 議案中 議案は全会一致で可決しました ○賛成 ×反対 議長は採決に加わらない

議案名	富永 勉	菅野朝興	兼子長一	会田哲男	木田治喜	岡部宗寿	渡辺幸雄	金成英起	須藤浩二	上野信直	角田 勝	水野秀一	議決結果 (賛成：反対)
一般会計予算	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	—	可決(9：2)
議員削減の請願	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	—	可決(8：3)

9人の議員が質問

(通告順)

町政を問う

1 富永 勉 議員

- (1) 農業経営の安定に向けた対策について
- (2) 水郡線ガード迂回路の計画について
- (3) 電気料金の高騰に伴う街路灯の一斉LED化について

2 会田 哲男 議員

- (1) ヤングケアラーの実態把握と支援の現状について
- (2) 高齢者のみ世帯への住宅用火災警報器設置補助事業の実施について
- (3) 子ども議会と各地域での行政懇談会の開催について

3 須藤 浩二 議員

- (1) 中学生の修学旅行について
- (2) 放置されている空き家について

4 兼子 長一 議員

- (1) 少子化と人口減少に対応したまちづくりについて
- (2) 物価高騰による学校給食献立の影響について

5 木田 治喜 議員

- (1) 公共施設等総合管理計画と地方公会計の関連性について
- (2) 浅川町第5次振興計画後期基本計画の商工業・教育関係進捗状況について
- (3) 町の防犯体制（防犯カメラ設置）について

6 岡部 宗寿 議員

- (1) 即身仏は、町・県・国の文化財指定にできないのか
- (2) 中学校建設について

7 渡辺 幸雄 議員

- (1) 城山公園管理について
- (2) コロナ終息後のマスク着用について

8 角田 勝 議員

- (1) 高齢難聴者への補聴器購入助成制度について
- (2) 県道の草刈りを県から町が委託契約をしてやるようにして実施を
- (3) 国保制度の18才未満（子ども）への均等割をやめて子育て支援を
- (4) 町保育所（こども園内）の保育料を子育て支援を強め、「子育てするなら浅川町」実現を
- (5) 町農業振興について
- (6) 石川地方生活環境施設組合の最終処分場（埋立地）の場所決定をどう進めるのか

9 上野 信直 議員

- (1) 通行人に危険がある構造物の把握とこれに対する町の対応は
- (2) 新型コロナへの対応緩和の流れに対する町の対応は
- (3) 貴重な即身仏を町活性化につなげる取り組みの現状は
- (4) 水道料基本料金の免除で物価高のなか町民の暮らしの応援を
- (5) 石川郡と東白川郡のゴミ処理を共同で行うことも考えては
- (6) 防犯灯の電気料を町が個人からもらっているケースはあるか

一般質問は3月3日に行われ、
通告した9議員が町長等の考え
を質しました。傍聴者は9人
でした。

※一般質問とは
定例議会において、各議
員が住民の代表として行政
全般にわたり町当局の考え
や疑問をたずねることです。
また議員にとって政策の
見直しや政策を提言する重
要な活動の場です。

農業経営の安定に向けた対策は

今やらなければならない



富永 勉議員

問 農業情勢は米価の

下落、肥料・飼料・燃料等の価格高騰、度重なる自然災害により農業経営を圧縮し、かつてないほど深刻で困難な状況にあり、生産意欲低下や生産基盤の弱体化が懸念されることから対策について伺う。

①生産資材の高騰に伴う循環型農業の取り組みは。

②農業所得安定のための収入保険への加入斡旋と助成制度を設ける考えは。

③農業担い手確保育成における青年等就農サポートの取り組みは。

町長 ①現在、肥料に

ついて町内の畜産農家と耕種農家、更には野菜加工工場や養鶏場等と連携し堆肥の製造ができないか模索しており、今やらなければと考えている。

②町内全農家を対象に5回ほど研修を開催し制度の説明及び加入促進を図るも、加入状況は低迷している。令和3年度収入保険支払額は浅川町で1人当たり200万円程度と他の制度より支払額が大きく営農を安定させるため有用であり、今後の加入率の状況を注視したい。

③国・県の補助金を使いながら町独自の助成を加え支援していく。今年度は4名の若手が就農したいとの相談がある。また、若手就農者からの一番の要望は町のブランドの確立である。

水郡線ガード迂回路の計画は

令和6年度には2車線道路工事に着手

問 里白石・木和田塚

線JRガードは国道118号と接続し、山石方面からの利用も多く交通の要衝であるが、大型車が通行できず長年にわたり生活に支障をきたしてきた。特に緊急時や災害発生の際の対応が懸念され早急な改良整備を要することから、その迂回路の計画を伺う。

①工事計画の概要と今後のスケジュールは。

②線路に沿った工事につき、工事業者はJRの特定となるのか。

町長 ①幅員狭小で高

さ制限のあるJRガードを経由せず直接国道118号に接続する2車線の道路計画（全長約485m）である。令和5年度は路線測量、道路設計の後、地元説明会、用地取得に進み、令和6年度には工事に着手し、2年から3年で工事完了したい。

②令和5年度に測量と設計を行う際にJRと協議をし、どのような方法で施工するのか決定したい。



大型車が通れないガード

高齢者のみ世帯等への 火災警報器設置補助を

補助等の支援策を協議・検討したい



会田哲男議員

問 高齢者のみや障害者等の世帯では、経済面・設置・管理等の面から火災警報器設置に躊躇すると思われる。これら高齢者世帯等の命を守るためにも、町・消防署・販売店と連携した警報器設置の補助をすべきと思うが、伺う。

町長 ①75才以上で構成される世帯は241世帯、障害者の1人暮らし世帯は27世帯、障害者のいる2人暮らし世帯は55世帯で、火災警報器の状況は把握して無い。

②令和元年調査では、2020世帯のうち、基準通り設置は957世帯、47%、基準以下636世帯32%、未設置は420世帯で21%。

③1人でも助けるのが行政であり、支援策は今後、関係機関と協議し検討したい。また浅川分署においても、警報器設置、購入の代行の事業は実施しており、消防署に問合せ願いたい。



町長 これから浅川町を担う子どもたちの思いや意見を今後の町づくりを活かしたいと考えており、子ども議会

問 浅川町の未来を担う子どもたちの思いと意見を今後の町づくり活かすため、また多くの町民の町づくり、活性化への考え、意見を聞き、町づくりと町政に活かすための子ども議会と各地域での懇談会を年に一度程度開催して、広く町づくりの思い考えを聞く場を設けるべきと思うが、実施について伺う。

浅川町の未来を担う子どもたちの思いと意見を今後の町づくり活かすため、また多くの町民の町づくり、活性化への考え、意見を聞き、町づくりと町政に活かすための子ども議会と各地域での懇談会を年に一度程度開催して、広く町づくりの思い考えを聞く場を設けるべきと思うが、実施について伺う。

浅川町の未来を担う子どもたちの思いと意見を今後の町づくり活かすため、また多くの町民の町づくり、活性化への考え、意見を聞き、町づくりと町政に活かすための子ども議会と各地域での懇談会を年に一度程度開催して、広く町づくりの思い考えを聞く場を設けるべきと思うが、実施について伺う。

子ども議会は開催方向で、 懇談会は今後の検討課題

子ども議会と 行政懇談会の実施を

については今後、内容開催方法の詳細を関係者で協議検討したい。

行政懇談会については町民の皆さんの集まる場に顔を出し、話、意見、要望など聞いています。また何かあれば、是非お聞かせください、おいでくださいと話しており、行政懇談会の開催については、今後の検討課題とさせていただきます。

中学生の修学旅行について

学校としての苦渋の決断だった



須藤浩二議員

問 先日、中学生の保護者の方から意見を伺った。

①劇団四季の観劇を、希望する・しない、のアンケートを実施した結果は、具体的な人数を伺う。
②観劇をしないと判断した経緯を伺う。最終的に誰が判断したか。
③観劇を楽しみにしていた生徒の思いを考えると、実施時期と内容を再検討して、観劇ができるようにするべき。

教育長 ①保護者アンケートを実施した結果「希望する」が48名、「希望しない」が9名、未提出・未記入が1名ずつだった。

②③11月の時点で感染者の急激な増加があり4月の状況が見通せなかつたことや、観劇は直前のキャンセルができず急な変更があつた場合9300円のキャンセル料が発生するなどから、学校として判断した。学校としては連れていきなかつたが一方で、コロナが心配という保護者の意見も少なからずあり、苦渋の決断だつたと聞いている。教育委員会としては学校で行う教育内容については、学校の主体性を尊重している。

放置されている空家について

定期的巡視や危険防止対策により安全確保に努める

問 ①倒壊が進む空き家の取壊しに向けた進捗状況は。旧浅川座について。

②令和4年度はどのような対応をしたのか。
③今後の予定は。

安全確認に努めている。頼、定期的な巡視や危険防止対策による安全確保に努めたい。

町長 ①これまでに危険と思われる数件の空き屋に対し、定期的パトロールや所有者への適正管理の依頼と飛散防止対策を実施してきた。本当に浅川座は厳しい。全然関係ない、立ち合いも嫌だという状況にあり大変厳しい状況だが、今力強くやっている。

②令和4年度も同様に



少子化・人口減少に対応したまちづくりを

子育て・企業支援・福祉充実を進める



兼子長一議員

問

人口減少は続くばかりであるが、こうした状況においても住民サービスは維持しなければならぬ。今後のまちづくりについて町長の見解を伺う。

①令和3年から5年までの1月1日現在の人口と自然動態及び社会動態は。

②来て「あさかわ」住宅取得支援事業の申請状況は。

③移住支援事業及び結婚新生活支援申請は。

④交流人口や関係人口を増やすため地域資源を活用する考えは。

⑤税込や上下水道料の減収見込でのインフラ維持整備の考えは。

町長

①令和3年6248名、令和4年6152名、令和5年5984名、自然動態は死亡数が出生数を大きく上回っている。社会動態についても転出数が転入数を上回っており、この傾向は10年以上続いている状況である。

②令和3年度が5件、令和4年度が4件ですべて県内からの移住である。

③令和元年度から4年度まで申請はない。

④県のサポート事業を活用し推進する。

⑤インフラ整備は計画的に実施し、企業進出や子育て支援、福祉環境の充実に取り組み。

問

物価高で学校給食献立の影響は 値上げはあるが栄養バランスを 確保している

たび重なる物価の値上げにより、栄養バランスの取れた給食を提供するため献立には大変苦慮されていると思うが現在の状況を伺う。

①こども園幼稚部、保育部、浅川小学校、浅川中学校の給食提供数と1食あたりの単価は。

②1食あたりの予算と献立のバランスはどのよう工夫しているか。

③2月10日の浅川町教育の日に、地元産の漢方資材米を提供したが食育の面からいい取組である。町で採れた野菜、鶏肉、豚肉を使用

して欲しい。

教育長

①こども園幼稚部が100食で1食300円、保育部が53食で375円、小学校が300食で300円、中学校が155食で340円となっている。

②物価高騰分を約10%と見込んでいたが約5〜6%程度の上乗になる見込みで、油関係の2回の値上げもあったが栄養バランスを確保した献立で提供できている。

③浅川町のブランド米として生産している漢方資材米をPRするた

め提供した。今後も地場産品の提供を検討していく。



第5次振興計画後期計画の商工業・教育関係の進捗は



木田治喜議員

国から創業支援事業計画の認定を受けて実施

問 当町の将来像は「暮らしやすさ」「新たな活力」「人と人とのつながり」3つのキーワードを基本として計画・戦略が策定されている。企画商工課新設で「町民の関心度」が高い商工業関係、「多岐亡羊」感のある学校教育関係の進捗状況を伺う。

①町内商工業事業者数及び商工会会員数推移。
 ②商工業振興に対する町新規実績。
 ③買物弱者のための移動販売事業は商工会・JA・町の連携が重要だが新規連携実績。
 ④学校の校務支援システムによる働き方改革の実績。

⑤幼小連携不足解消の考えと実践は。

町長 ①事業者数と会員数は令和2年度280件、195件、3年度282件、193件、4年度282件、194件。
 ②石川管内5町村と5商工会の共同で国から創業支援等事業計画の認定を受け実施している。
 ③現在のところ特に新たなものはない。
教育長 ④教職員アンケートの結果、34%が毎日利用し、週1回以上の利用は80%になる。働き方改革に役立っているとの回答は88%だった。多忙化解消に一定の効果があつた。
 ⑤教職員の連携会議は8回行い、ほか毎月1回園長・小中学校長の会議を行っている。

防犯カメラの設置実績と今後の設置予定は

中央公民館・保健センター・役場庁舎に設置、予定は中学校

問 令和4年度に同趣旨の質問をしたが、全国で窃盗事件が多発している中で防犯カメラ・防犯灯の内容が違った。

現在、同様な事件が福島まで広がりを見せている町民の不安も増している状況下で防犯カメラ設置は急務である。

要では？地域の目となる防犯カメラ設置・運用に対する町見解は。

①防犯カメラの4年度設置実績及び今後の設置予定。
 ②防犯カメラ設置運用ガイドラインの策定状況は。
 ③犯罪弱者と呼ばれる高齢者への防犯対策として積極的な設置が必要

町長 ①令和4年度に設置した施設は、中央公民館、保健センター、役場庁舎である。今後の設置予定は中学校については新校舎に設置予定となっている。
 ②運用基準を設置施設ごとに定め、令和5年

3月1日から施行している。
 ③高齢者に関して、一度見直しをして、町ができることは進んでやっていきたい。
 ④第5次振興計画に基づき、関係機関・団体との連携をより一層強化し、町民の防犯意識の向上や犯罪の起こりにくい環境の整備に努めていく。



即身仏を町観光にどうつなげる

保存会と話し合いをしている



岡部宗寿議員

問 以前にも質問した即身仏は仏像などではなく人間の遺体なので、文化財の指定を受けることができないとの事。補助金を得ることができず護持寺院にとつては維持コストが負担となつている。即身仏の状態を維持し後世に伝えていくためには多くの人に訪れてもらい、その価値を理解する人を増やしていかなければならぬ。即身仏を巡る観光の整備に行政の支援を期待し、水郡線を使った観光キャンペーンを繰り広げる考えは。

町長 保存会の会長さんと話し合いをしており、即身仏を使ったお土産品などの開発や販売の了承、薬師堂内への町や富三記念館のパンフレット設置、魔除け花火のサンプル設置をお願いしている。拝観者が即身仏だけでなく浅川町に興味を持つ体制をつくりたい。私も昨年水郡線の活性化に力を入れている。ぜひみなさんとともにやっていきたい。



小室夫婦記念ホールは必要か

音楽室と教員会議室である

問 少子化が進む中で全国で小・中・高校の空き教室が出て使われない教室は物入れとなつている。浅川中学校建設は鉄骨3階建てにするが大きさは今の校舎の倍ぐらいの規模である事を踏まえ何う。

①小室源四郎・ヨシコ夫妻記念ホールは必要なのか。

②これまでの議会や検討委員会で出された意見はどうなってるか。

③生徒数は、10年後20年後どうなっているか。

答 室で、可動間仕切りで仕切られる。必要があれば広いホールとして利用もできる。小室夫妻のご遺族や関係者から、小室基金を学校建設に活用できることになったことに感謝申し上げたい。

②これまで出された様々な意見は、建築・設計会社とも十分協議し、総合的に判断して現在に至っている。

③令和5年度は168名で、10年後は3学年計92名になると見込んでいる。

教育長 ①記念ホールは、どの学校にもある生徒が授業で使う音楽室と先生方が使う会議

城山公園の十分な管理を

必要に応じて対応していく



渡辺幸雄議員

問

城山公園も整備されつつあるが根宿方面から登る道路脇も伐採され急斜面が見えるようになった。現在でも町内外からも多数の人が訪れている。
①根宿方面から登る急斜面が見える場所にガードレールを設置し安全確保を考えるべきと思うが考えを伺いたい。
②東屋の老朽化により一部が壊れており、白梅の道の石の階段も土が流れ散策するのに歩きにくく、早急に改善すべきと思うが考えを伺いたい。

町長

①道路の現場状況を確認し、必要に応じて対処したいと考えている。
②東屋は、完成から30年以上が経っており、老朽化により破損があることは承知している。今後、計画的に修繕を進めていきたいと考える。遊歩道の石段については、大雨などの際に土が流れたものと思う。歩きにくい場所などがあれば、土を補充するなどして随時、対処する。

コロナ終息後のマスク着用は

一律に求めるのではなく 個人判断で

問

国では、コロナ終息後の対応として、3月13日からは屋外、屋内を問わずマスクの着用は個人判断にゆだねるとしている。
①こども園の卒業式、小・中学校の卒業式はコロナ前の形に戻るのか。今年度卒業する中学生は3年間マスクの着用を義務づけられてきた。卒業式だけでも強制はできないと思うがマスク着用なしで実施しては。
②役場窓口等を利用する町民に対しては3月13日からは着用は個々の判断に任せるのか考えを伺いたい。

教育長

①こども園の卒業式、小、中学校の卒業式については、基本的に文部科学省、福島県教育委員会の通知に基づき実施する。式への参加に不安を感じる子どもや保護者がいると予想され、マスクを外すことを一律に求めるのではなく、個人の判断で着用させて参加させたい。そのときの感染状況で判断したい。

町長

②政府の方針のとおり、個人の主体的な選択を尊重し、マスクの着用は個人の判断に委ね対応していく。



ゴミ最終処分場の場所決定 町はどう進めていくのか



角田 勝議員

調査地区の選定や調査を進めたい

問 石川地方生活環境施設組合のゴミ最終処分場（埋立地）は、次は浅川町に造ると決められている。石川町の今の場所はずでに20年になろうとしている。15年の計画が余裕ができ20年に延ばしてもらっている。組合の見通しとしては令和5年か遅くとも6年中には場所を決定して準備しなくてはならない。地元との合意や環境問題を解決し了承してもらおう時間が必要で、道路や下流域の了承などは大変だ。最低でも1町2反歩は必要な場所決定まで、どう進めていくのか。

町長 石川町山橋地区にある一般廃棄物最終処分場及び粗大ごみ処理施設について、施設組合では残量測定を実施し、次の順番となる浅川町が令和6年度までに候補地を決定することを求めている。町としては令和5年度に調査地区の選定や候補地決定に必要な調査を行うなど、候補地決定のための手続きを進めたいと考えている。決定は町民、行政区、地域住民の理解と協力なしにはできないので、施設組合とも十分協議し、丁寧に進めていきたい。

問 世界的な食料不足が大きな問題になってきている。自給率が先進国でも最低の日本は、外国では当然となつていいる主要な農産物への生産費に見合う価格補償制度を確立することが急務である。しかも消費者にとつて安全安心な食料をつくることも求められている。町として①町の特産作物の推進、②農地の荒廃化を防ぐ対策、③激減している畜産への助成（高騰する飼料）④ア

グロエコロジー農業、消費者との結びつきよ

町長 ①町認定農業者推進協議会やJA浅川支店、JA専門部会、町商工会と連携し、身近なものを活かした特産品作りを模索している。

②荒廃農地は増加傾向にあり、更なる集積や荒廃農地を活用した特産物の開発を視野に農業委員や推進委員と意見交換している。

③今年度畜産農家には飼料購入の助成をした

身近な物を活かした特産品を 関係者と模索している

町の特産物作りや低農薬・有機栽培の推進を

ので、現在予定していない。

④生態系に見合った農業や暮らしをするために有機農業、小規模家族農業、スローライフなどを考え実践することは大事だと考える。



水道料の基本料金免除で 町民のくらしの応援を



上野信直議員

他の事業で行っている

問 際限ない物価高で町民の暮らしはますます容易でなく、くらし応援の町政が求められている。こうした中、泉崎村は、一般家庭の水道料の基本料金を、昨年11月から今年2月までの2期分を免除するという取り組みを行った。町民に平等な対応ができ、事務手数料・郵送料など余計な経費が不要のため極めて効率的で、考えたやり方だと感心した。浅川町でも、町民のくらし応援の1つとして、1カ月1320円の一家庭の水道料基本料金の免除を検討してはどうか。

町長 他の自治体の一部では、コロナ関連の交付金や物価高騰に対する交付金を財源として水道基本料金の免除を行っているというところとは承知している。浅川町では他の事業により物価高騰対策を実施し、町民支援や事業者支援に取り組んできており、現在のところ水道の基本料金の免除は考えていない。なお、3カ月間、水道を使用している全世帯の基本料金を免除した場合、免除総額は約930万円になると試算している。



問 石川郡のゴミ焼却施設は多額の費用をかけ、大規模改修がなされた。浅川町の負担も大きかった。しかし、改修しても新しい施設を建設せざるを得なくなるのは時間の問題だ。こうした状況は東白川郡も同じではないか。

推測される。人口が減少し、ごみリサイクルが進み、焼却ゴミが減っているもとの、石川郡と東白川郡がそれぞれ新しいゴミ焼却施設を巨額の費用をかけて造るよりは、両者で1つの施設を造るほうが、負担を減らすことができる。ある程度時間があるので考えてはどうか。

ゴミ焼却施設の新設は石川・東白共同で考えては

県の「ごみ処理広域化計画」は、30年に終了している

「広域化計画」を策定し、県内を7ブロックに分け広域化について協議検討がなされ、平成30年3月におおむね広域化が図られたことなどを理由に計画を終了している。さらなる集約化については、各施設の整備時期等が異なることなどから、県内市町村の8割が現行処理体制の維持を求めており、難しいものと認識している。

町長 福島県のゴミ処理の広域化及びごみ処理施設の集約化については、平成11年度に「福島県ごみ処理広域



● **東京日本橋ふくしま館** ●

3月10日(金)～3月11日(土)の2日間東京日本橋ふくしま館において、浅川町の物産展が開催され、町長、役場、農協、商工会職員、漢方米生産者とともに、議会を代表して水野秀一議長他4人の議員も参加して町のパンフレットを配布したり物産の説明を行いました。

出展した物産は、漢方資材米、純米生原酒あさかわ、パン、野菜、たまご、魔除け花火など26点用意しました。在京浅川会の関根会長と会員の皆さんや浅川町出身の方など多くの方に来ていただきました。来場者は、2日間で約3000人となり、純米生原酒や野菜は1日目でほぼ完売するなど浅川町のPRに努めました。

今後このような物産展に参加し情報発信をしていきます。



町民の期待に 応えられる 議会に！

議会改革
検討会の
ご報告



議員の質問が
尻切れトンボで
終わることって
なかった？



議員の質問権強化

これまで一般質問や質疑の回数は3回までとされていましたが、5回までできるような規則を改正し、6月定例会から実施となります。これは「議会改革検討会」で議論を重ねたもので、問題提起に質問、再質問、再々質問と3回で終ることなることから、「追求しきれない」「核心に迫れない」など課題でありました。5回までの改正は全国的にも珍しく、議会改革として大きな成果であります。

3月議会で会議規則を改正 3回までだった質問を5回に増やす

町議会会議規則の改正が議会運営委員会より発議され質疑回数が増え3回から5回に変更されました。提案の理由として、議会改革検討会で疑義をただすには質疑回数が3回では不十分であり、十分な質疑が尽くされるためには5回に変更する必要があるとの結論から改正するもの。

【採決】
全会一致で可決しました。

常任委員会の活性化

常任委員会って
いったい何を
やっているの？



常任委員会には、総務経済、文教厚生などの2つの常任委員会があり、議員はいずれかに所属し活動します。「議会改革検討会」で活性化に向け検討がなされ、「調査範囲や付託される範囲が分かりづらい」などの課題を整理し、今後は活発な活動を展開してまいります。

また、新たに「予算・決算特別委員会」を設置することを全員賛成で決定しました。令和6年3月定例会の当初予算から実施できるよう準備し、今後は特別委員会を通して予算・決算の十分な審議が図られるよう監視役としての機能発揮に努めてまいります。

城山公園のトイレ改修を

令和4年6月定例会

答

建物は現在と同程度の面積で便槽交換であれば届を出して1ヶ月程で許可が出る。環境にいいトイレ、誰もが利用できるトイレを造りたい。

問

城山公園は、文化財にも指定されているがトイレの許可は受けているのか。城山なので、お城の外見に似たように考えてみては。

令和3年6月定例会

答

城山公園トイレについては完全な建替になる。車イスで入れるような多目的トイレもついた新たなトイレに建て替える予定をしている。

問

城山公園のトイレを改修し水洗にすべきではないか。今あるトイレは大変古く、見た目にも公園のトイレに合わないのではないか。



建替完成したトイレ



改修前トイレ

古里 写真館

Vol.24

Photograph

交流のページ

— お願い —

古里の写真をお持ちの方は、ぜひご連絡下さい。誌上でご紹介させていただきます。

浅川町議事会事務局 36-1182



昭和51年頃の町民グラウンド造成工事（浅川町所蔵）



昭和51年3月 大草分校最後の子どもたち／古語宮 写真の久保木さん提供

地区の後継者として 二人三脚で頑張ります

専門農家

鈴木健史さん

私は今、新規就農から5年目を迎えます。昨年の作付は（借地含）水稲10畝、キュウリ15畝、ブロッコリー30畝を作付、農協、肥料店、家族、親戚の協力があつて認定農業者への一歩を踏み出します。始めは農業とは無関係の会社員一筋、おおく変わったのは、35歳の時、父の農業引退、私の結婚と義理の父との出会いで水稲に興味を持ち兼業農家を始めました。水稲30畝からスタートし毎年作付面積を増やし、右も左も分らないまま天候等に左右され収穫量も上からず悪戦苦闘の毎日でしたが作物は子供と同じで作物のことを学べば学ぶほど良い物、収穫量が増える楽しみが出来ました。平成29年会社員を辞め専業農家としてスタート。義理の父がキュウリ作付



の経験者でキュウリ、水稲の指導を受けながらブロッコリーを軸に小規模でも生計できる計画でしたが、地区で水稲を中心の農家の離農を機会に水稲の作付面積を増やしました。米価の低下、燃料、肥料、資材等の高騰により経営が厳しい時代です。

さらに農家の高齢化により離農の相談が増えていますが、次世代につなげるよう行政、議会との協力を得て頑張つていきます。何よりも、会社員を辞め就農して家事、育児と両立してくれる妻に感謝しかありません。これからも妻と二人三脚で頑張りたいと思います。



健史さん美智さんご夫妻

編集後記

昨年8月に、「議会革改検討会」が発足しました。議員全員が月に1回のペースで集まり、活発な議論がなされています。今までは話題にだけ上っていたものに、具体的な形を持たせる事ができるようになり、変更や改善をするスピードが増しているかと思えます。これからも、浅川町がより良い方向へ前進できますように、議論を深めてまりたいと思います。菅野朝興

広報特別委員会／上野信直 渡辺幸雄 会田哲男 兼子長一 菅野朝興 富永勉